

福島県立視覚支援学校・福島県立聴覚支援学校福島校

【発行所】

福島県立視覚支援学校・
福島県立聴覚支援学校福島校
後援会

〒960-8002 福島市森合町6番34号

TEL 024-534-2574

FAX 024-533-2470

E-mail fukushima-sb@fcs.ed.jp

後援会会報

第12号

「明るく優しい温かい ご支援に感謝して」

福島県立視覚支援学校・聴覚支援学校福島校 後援会長 西山 尚利



会員皆様には本会の活動に深いご理解と温かいご支援を賜り、心から感謝申し上げます。おかげ様で今年度も、視覚支援学校・聴覚支援学校福島校で学ぶ幼児・児童・生徒が自分の目標に向かい学習・体育活動に励み、生活全般にわたり充実した時間を過ごすことが出来ましたことに厚く御

礼申し上げます。

さて、今年度は念願であった聴覚支援学校福島校の新校舎が完成し、9月2日教育長をお招きし、盛大に新校舎落成式が行われました。落成式で福島校の子どもたち全員が演じた、ダンスや「誓いの言葉」には、新しい校舎で学習できることへの感謝や喜びが伝わってきました。また、視覚支援学校では第88回全国盲学校弁論大会において常松桜さんが優勝し、フロアバレポール全国大会出場と合わせ、文武両道の活躍を嬉しく思います。

5月に元号が平成から令和に代わりました。令和には「それぞれの花が、それぞれ綺麗な花を咲かせて、心を合わせて豊かな優しい社会を作って行きましょう。」という想いがこめられています。子どもが学校や地域・社会で共に学び、共に生きる教育を推進するという理念のもと活動を続けてまいります。引き続き、学校教育の充実発展のため、後援会活動に対しましても一層のご支援・ご協力をお願い申しあげまして、ご挨拶といたします。

「ご支援に感謝いたします」

福島県立視覚支援学校長・聴覚支援学校福島校分校長 須田 康仁



後援会会員の皆様には、日頃から、視覚支援学校及び聴覚支援学校福島校の教育活動へのご理解とご支援をいただき、誠にありがとうございます。今年度も、皆様のご支援により、様々な活動を展開することができました。

聴覚支援学校福島校の今年度のトピックは、新校舎の落成です。夏休み中に教材教具の引越しを行い、9月2日(月)には県教育長らをお招きして新校舎落成式が挙行されました。式では、鈴木教育長から「新校舎での学習を頑張りましょう」という励ましの言葉を、そして西山後援会会長からお祝いの言葉をいただきました。それに応え、幼児児童全員でくパプリカを踊り落成式に花を添えました。大型モニターや集団補聴システムも完備された最先端の校舎で、幼児児童は充実した学習を進めています。

一方視覚支援学校では、初の試みとして7月13日(土)にコラッセ福島において、理解啓発活動「見たい、知りたい、体験したい!～視覚支援学校ってどんな学校?～」を行いました。当日は4時間という短い時間ながら、100名を優に超える方々の参加がありました。理療科の生徒のクイックマッサージや盲導犬体験などたくさんのブースの運営に対し、後援会から補助をしていただきました。参加者の方々からは、とても良かったので来年も実施してほしいなど素晴らしい評価を数多くいただき、主催者としてとても励みになりました。

結びに、今後も後援会活動に対しご理解とご協力をお願いいたしまして、活動報告と御礼のご挨拶といたします。



教育活動報告



会員の皆様よりいただいた会費は、視覚支援学校・聴覚支援学校福島校の教育活動の中で、有効に使わせていただいております。ここでは、多くの補助を受けて実施された教育活動の中から、学校行事での幼児、児童生徒の様子を紹介いたします。

小学部 「素敵な音楽の贈り物」 ～小学部お楽しみ会～

毎年12月になると「音楽」という素敵なプレゼントを持って来校してくださるのは、グリーンパークトリオの皆さん。平成24年度以来今年8年目となりました。今年は聴覚支援学校福島校小学部の児童も参加ということで、手話等の支援としてお二人のボランティアも加わり、演奏や歌で児童を楽しませていただきました。本校小学部児童は、音楽の授業で学習した曲をグリーンパークトリオの皆さんと合奏し、音楽の楽しさや音の広がりを一層感じていました。



(小学部主事
高橋 和代)



中学部 「中学部校内実習」

前期の進路週間に、1年2組、2年2組の生徒が校内実習を行いました。アロマストーン用の袋作りと、その袋詰めを行いました。生徒と担当教員が話し合い、生徒が一人で作業を進められる作業環境の整備や補助道具の準備等を行い、生徒達は様々な工程にチャレンジしました。製品は、お世話になっている人、ゲストティーチャーへのお礼や交流している静岡県立沼津視覚支援学校中学部に贈りました。「自分の仕事が誰かのためになる」…働く喜びを学んでいます。



(中学部主事 岩崎 実)

高等部普通科 「クリスマスジョイントコンサート2019」

今年度紹介するのは、福島高校、橘高校の合唱部との交流です。

本校普通科の生徒は、音楽や総合学習などで練習してきた箏の演奏&歓迎パフォーマンスで参加しました。箏では「風の色」四重奏が体育館に響き渡りました。その後、橘高校、福島高校の合唱部によるクリスマスならではの合唱が行われました。

クライマックスは、全員で輪になって、クリスマスの曲に合わせてダンスをし、盛況のうちに幕を閉じました。誰の顔にも清々しさと、笑顔の残る交流学习でした。

(高等部普通科長 大橋 昌弘)



高等部理療科 「臨床体験発表会」

令和元年12月20日に理療科の臨床体験発表会が開催されました。

午前の部の研究発表では、1年生も含め生徒全員が発表することができました。1年生は「東洋医学」から連想される漢方をテーマに、保理科2年生は睡眠、専攻科2年生は美容鍼、そして専攻科3年生は、前年度の研究をさらに発展させ、耳鳴りに対する鍼通電療法についてと、テーマが多岐にわたり、各生徒の臨床への興味や意欲の高さを感じられる発表となりました。

午後は筑波技術大学より講師を招き、「筋膜リリースの基礎」をテーマに、実技を中心にご講演をいただきました。生徒も職員も「筋膜リリース」という言葉はよく耳にしていたましたが、今回のご講演を受けて、さらに興味や関心が高まり、臨床実習にも生かしていきたいとの声がありました。充実した臨床体験発表会となりました。
(高等部理療科長 小池 佳郎)



午前の部：生徒発表



午後の部：臨床講演・実技講習



聴覚支援学校福島校 幼稚部「秋の遠足」・小学部「合同学習発表会」

幼稚部では、11月1日(金)に秋の遠足で果樹園に行ってきました。自分でりんごをもぎとり、みずみずしいりんごをまるかじり。「おいしい!」「あまい!」と声が上がりました。その後は、十六沼公園のぴよんぴよんドームで遊び、大きく弾む感触に大喜び!

体をいっぱい動かして楽しみました。



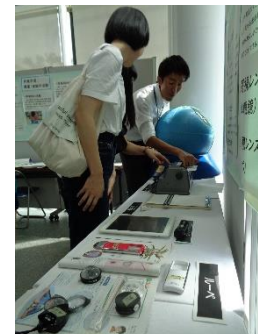
小学部では、11月2日(土)に福島第四小学校との合同学習発表会が開催されました。「新しい学校」をテーマに、太鼓の演奏や「パブリカ」のダンス、新校舎の紹介をしました。練習を重ね、友達と協力し合い緊張の中にも堂々と発表し、たくさんの拍手をいただきました。

(聴覚支援学校福島校教頭 小川 令子)



「見たい、知りたい、体験したい!」～視覚支援学校ってどんな学校?

令和元年7月13日(土)にコラッセつくしまにおいて行われた啓発推進事業。この事業は、視覚障がいについての理解啓発と視覚障がい教育及び視覚支援学校の魅力について知っていただくことを目的に実施されました。多くの方々に実際に体験していただく機会になりました。



聴覚支援学校福島校「新校舎落成式」

令和元年9月2日(月)に、地域や保護者の皆様、これまでご支援、ご尽力いただいた関係各位のご臨席のもと、「新校舎落成式」が挙行されました。新校舎の完成をたくさんの方々とともに祝いし、記念すべき一日となりました。



令和元年度

会費等の御協力をいただいた方々及び団体 (敬称略)



今年度も、在籍している幼児児童生徒の保護者の皆様にご協力をいただきました。ここには、ご協力いただいた旧職員の皆様及び特別会員・関係団体の皆様のみ記載させていただきますので、ご了承ください。

保原町工業団地懇話会
守工業株式会社
社会福祉法人あおぞら福祉会 菊の里
有限会社大野建築設計事務所
株式会社トヨネスト
株式会社三宅新聞店
福島テレビ株式会社

阿部 教夫 大和田 栄子
阿部 稔也 小川 真弥
安藤 俊典 小野 祥一郎
五十嵐 永子 小野 誠子
五十嵐 登美 小野 貴則
五十嵐 好恵 貝 沼ひとみ
伊藤 信也 加藤 由香里
伊藤 志津子 菅野 典子
海野 薫 菅野 美恵子
江口 和子 菊池 暁

栗村 美智子 中村 雅彦
古関 京子 七宮 弘暁
小山 久美 西山 尚利
小藤 悠樹 西間木 薫
齋藤 洋之 二瓶 恵美子
齋藤 和也 野村 一道
齋藤 裕子 芳賀 孝美
齋藤 浩之 原 江理歌
佐藤 健一 原田 道久
佐藤 正雄 古川 洋子
嶋原 弥 星 富美子
穴戸 綾子 堀江 静子
穴戸 英樹 本田 富治
篠田 路子 松田 豊志子
鈴木 健一郎 間船 博
平 祥江 武藤 永治
高橋 英明 村上 卓
高橋 富士子 柳内 泰二
竹中 洋子 八巻 静子
田嶋 まゆみ 八巻 宏子
丹野 功一 山岸 芳和

山口 志保
渡部 経子
渡邊 知美
渡辺 勝
渡邊 葉子

各市町村
会津若松市
いわき市
天栄村
国見町
郡山市
鮫川村
白河市
相馬市
西郷村
福島市

❖伊達市保原町工業団地懇話会様から今年度も多大なる会費の贈呈を受けました。



❖視覚支援学校中学・高等部球技部が全国フロアバレーボールいわて大会に東北地区代表として出場しました。惜しくも予選敗退でしたが、次年度の大会に向け、頑張っています。



トピックス

編集後記



日頃より本後援会にご理解とご支援をいただき、感謝しております。本紙面を通して幼児児童生徒の様子と本会の事業内容についてご理解いただければ幸いです。これからも本会活動充実に向けて努力して参りますので、今後ともご支援をよろしく願いいたします。